

新潟市農業活性化研究センター試験成績書(平成25年度)

課題名	プチヴェールの品種比較試験		
目的	M社から発売されているプチヴェール3品種について、品種特性を調査する。		
目標とする成果	生産者が、色彩豊かな品種を生産し、バラエティーある商品開発を行うための資料とする。		
実施期間	平成25年7月～3月(単年度)	該当地区	新潟市 全域
依頼/協力	新津さつき農協		
試験実施場所	路地圃場3(500㎡) (砂壤土)	担当者	鍋田慎介, 三浦雅子

1 試験方法

(1) 試験区の構成(1区5株2反復)

ア) 試験区の規模……1区5株, 反復なし

イ) 品種……プチヴェールルージュ(紅), プチヴェールホワイト(白), プチヴェール(緑) <対照>

(2) 耕種概要

ア) 作型……「プチヴェールの作型試験」慣行作型に準ずる(8月20日定植)

イ) その他……「育苗」, 「栽植密度」, 「施肥」は「プチヴェールの作型試験」に準ずる

2 結果と考察

(1) 経過の概要

「プチヴェールの作型試験」の一角に、参考として供試した。プチヴェール(緑)に比べ、プチヴェールルージュ(紅), プチヴェールホワイト(白)は、主茎長が短かったが、展葉数は多くなった。すなわち節間が短かった。また、プチヴェール(緑)は若干のシュートの発生が見られたが、プチヴェールルージュ(紅), プチヴェールホワイト(白)では発生がなかった(表1)。収量においては、プチヴェールホワイト(白)が98.2個と最も多く、次いでプチヴェールルージュ(紅)78.0個, プチヴェール(緑)66.0個となった(図1)

(2) 品種特性調査

ア) プチヴェールルージュ(紅)

収量性はプチヴェール(緑)よりも良かったが、Sサイズの比率がやや多かった。茹でると赤みは消え、白っぽくなるが、酢や酸性のドレッシングを和えると赤みが戻った。

シュートの発生もなく栽培は容易である。また、料理の添え物としては美しく、食味も良好であると感じた。しかし、プチヴェール(緑)の形状とはやや違い、腋芽はやや縦長である。また、結球するものもあった。

イ) プチヴェールホワイト(白)

収量性はプチヴェール(緑)よりもはるかに良い。シュートの発生もなく栽培しやすいと思われたが、プチヴェールルージュ(紅)よりもさらに腋芽が縦長になりやすく、また抽苔も若干早いように感じられた。また、添え物としての美しさはルージュの方が勝っていると思われた。

以上のことから、「プチヴェールルージュ(紅)」と「プチヴェールホワイト(白)」は、収量性が良く、栽培はプチヴェール(緑)に比べて容易であると感じられた。また、腋芽の形状がやや縦長で、プチヴェールとは少し違った印象ではあるが、色が美しく、食味がプチヴェールと同等であることから料理の添え物などに充分利用できると思われた。また、バラエティーを持たせた販売や加工による商品開発などに役立つものと思われた。

表1 生育と収量

品種	展葉数	主茎長	最大葉長	茎径	シュート	収穫見込	総収量	A規格	B規格	規格外	3L	2L	L	M	S
プチヴェール(緑)	124.3	48.8	29.1	42.9	4.8	119.5	66.0	38.5	9.2	18.3	7.2	4.6	11.7	28.4	14.1
ルージュ(紅)	152.0	42.2	24.8	44.6	0.0	152.0	78.0	26.2	4.8	47.0	5.4	6.0	22.6	21.8	22.2
ホワイト(白)	182.2	42.8	23.6	44.4	0.0	182.2	98.2	59.6	21.2	17.4	7.6	8.0	16.6	45.8	20.2

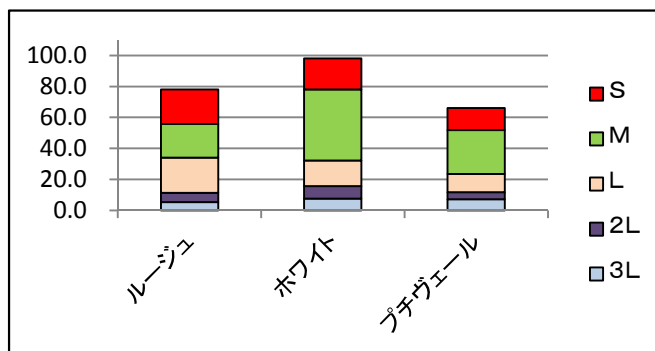


図1: 規格別収量(個/株)